



深川東京モダン館だより

Fukagawa Tokyo Modankan News



企画展

旧東京市深川食堂が歩んだ昭和

10月31日(土)～11月15日(日) ※11月2日(月)・9日(月)は休館日

昭和7年(1932)に建築された旧東京市深川食堂の歩んだ道のりを
江東区や社会事業の歴史なども踏まえつつ紹介する

入場無料

共催 食べる・学ぶ・深川めし 11月1日(日)11:00-15:00

企画展「旧東京市深川食堂が歩んだ昭和」の展示にあわせ
深川めし(500円～)の販売と実演を行う

11:00-14:30 弁当販売(500円、1000円)(深川めし八郎右衛門)

11:30-14:00 深川めし調理実演・販売(500円)(深川宿)



共催：深川めし振興協議会

写真はイメージです

11月のカレンダー

開館時間 10:00-18:00

月	火	水	木	金	土	日
						1 食べる・学ぶ・深川めし 企画展(-11/15)
2 休館日	3	4	5	6	7	8
	企画展「旧東京市深川食堂が歩んだ昭和」(-11/15)					
9 休館日	10	11	12	13	14	15
	企画展「旧東京市深川食堂が歩んだ昭和」(-11/15)					
16 休館日	17 嘶+話	18	19 キッチン 松ぼっくり 営業日	20 モダン館 円楽一門会	21	22
23	24 休館日	25	26	27 おきがる講座	28 圓橘の会	29
30 休館日						



共催

噺+話

11月17日(火) 14:00～(開場13:30)

林家あんこ「藪入り」 + 龍澤潤「演題にちなんだ話」

予約・当日 1,500円 定員 20名 ※10月27日(火) 10時から受付

懐かしい給食の味！

テイクアウト

キッチン松ぼっくり 特別編

11月19日(木) 12:00-14:00

押し寿司と団子 600円

お1人様につき1点限りとさせていただきます

※受付は当日の10:00から(開館は10:00)

※完売次第、閉店いたします

※ご予約はできません ※メニューを一部変更する場合があります



写真はイメージです

当日はテイクアウト用にパックに入れてご提供します

共催

モダン館円楽一門会

11月20日(金) 14:00～16:00 (開場13:30)

楽八改め伸空真打昇進披露

圓橘 楽麻呂 円楽 楽八改め伸空 萬丸

演目は当日のお楽しみ + 「深川と落語にちなんだ話」 龍澤潤

予約・当日 2,000円 定員 50名 ※10月27日(火) 10時から受付



共催

圓橘の会

11月28日(土) 15:00～

(開場14:30)

三遊亭 圓橘・好青年

「みいら取り」

かじかざわ

「鰯沢」

予約・当日 3,000円 定員 50名 ※11月5日(木) 10時から受付



主催

おきがる講座

江東区の歴史を学ぶ講座です

11月27日(金) 14:00～15:30 江戸時代の深川の火事 ※11月5日(木) 10時から受付

受講料：500円 定員：50名(要予約) 講師：龍澤潤(深川東京モダン館)



岩崎彌太郎の生家を訪ねて



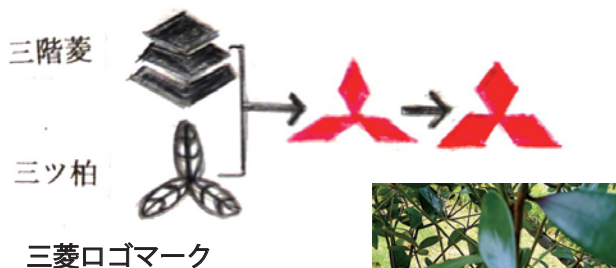
今年の1月頃、知人から「三菱の創業者岩崎彌太郎が幼少の頃に過ごした生家に、彼が造った日本列島の石組があり見学できるよ」と教えて頂き、生家のある高知県へ行ってみたいと思い、寝台特急サンライズへ乗り途中で「土佐くろしお鉄道」のオープンデッキ付き列車に乗り換え、安芸駅で下車しました。「岩崎彌太郎生家」は高知県安芸市井ノ口一宮にあります。駅で無料自転車を借りて生家へ向かいました。途中で岩崎彌太郎の大きな銅像がありビックリ！山（妙見山）が近くなり、寂しい通りにでた辺りに集落を見つけました。生家を探していると、垣根に囲まれた敷地にかやぶき屋根を見つけました。（30坪ほど）彌太郎の曾祖父、彌次右衛門が建てた家です。当時は藁ぶき屋根でしたが藁は傷みやすいため昭和55年に茅ぶき屋根に替えたそうです。生家で、長男の彌太郎、長女、次女、弟の彌之助が生まれ、彌太郎の長男である久彌、長女、次女、三女が生まれています。彌太郎、彌之助、久彌は三菱グループの基盤を確立した方です。

現在の「岩崎彌太郎生家」の敷地は約1200坪あり、彌太郎が成功してから土地を購入したそうです。土蔵の上の鬼瓦には岩崎家の家紋「三階菱」のマークが付いています。3つの菱形を積み重ねた形です。岩崎彌次郎の頃は土佐藩の地下浪人でした。土佐藩主山内家の家紋は「丸に土佐柏」です。「三階菱」の3つの菱形を山内家の家紋のように置

き換えると三菱のマーク「スリーダイヤ」の形になります。「スリーダイヤ」の形は、樹木「モッコク」の伝統的な剪定方法に似ています。「三葉透かし」と言われる3枚の葉だけを残す特徴的な手入れ方法です。モッコクは、三菱創業者の岩崎彌太郎ゆかりの庭園などに植栽されることが好まれ「三階菱」「スリーダイヤ」を連想させると言われています。江東区清澄にある「清澄庭園」には植栽されています。「清澄庭園」は、大名屋敷を彌太郎が購入して彌之助へ引き継ぎ久彌に受け継がれて、その後、東京都が整備した庭園です。生家にモッコクが植栽されているのかを確認することは出来ませんでした。生家と土蔵などは、国の登録有形文化財に指定されています。

日本列島を模した石組は、生家の座敷前の庭に置かれています。「日本はわが庭のうちにあり」と言って石組みを眺めていたと言われています。実は、訪ねた日は定休日でした。生家を囲む垣根は低く造られていて、敷地内を見たくなり生家を一周すると、生家を囲むように家が建ち、生家と隣接した家を訪ねましたが留守でした。

現在「岩崎彌太郎生家」は三菱グループにより維持管理されているそうです。生家は定休日のため見学は出来ませんでしたが、生家の周辺を散策した後、近くにある史跡を巡りました。安芸の歴史を知ることができて充実した一人旅でした。



「清澄庭園」モッコク



（文と写真 江東区文化観光ガイド 森野辺 照美）

深川東京モダン館では江東区文化観光ガイドによる館内のご案内（10時～16時）およびご希望によりモダン館周辺のまちあるきツアー（1時間程度、11時・14時出発）を行っています。※諸事情によりガイド不在の場合もあります。

貸会議室・多目的スペース

深川東京モダン館では2階の多目的スペースと会議室をお貸し出ししています。ミーティングやイベントを行うスペースなどにご利用ください。

◆会議室 (20㎡)

利用日時：開館日時 利用例：社内ミーティング、商談、お花・書道・語学の教室等

◆多目的スペース (80㎡)

利用日時：開館日時 利用例：展示、イベント、社内研修、演劇の公演、講演会、落語会等



多目的スペース



会議室

※料金・ご予約の詳細については、お電話またはメールにてお問い合わせ下さい。

※スクリーン、プロジェクター、マイクなど機器類もご利用いただけますので、ご相談ください。

ガイドブック・お土産品

深川東京モダン館1階では、まちあるきに役立つガイドブックや江東区の文化財ガイドなどを販売しています



新商品 コトミちゃん

ミニトートバッグ
ネイビー/グレー
各600円(税込)

ポーチ
1,200円(税込)

百圓珈琲

1F カウンターでは 100 円のコーヒー各種をご提供しております
日替わりホットコーヒーと
モダン館ブレンド (しっかり・すっきり) をご用意

まちあるきの休憩時や
会社のお昼休み中に
どうぞ



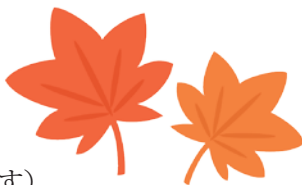
当館は全て現金のみです

開館日および開館時間

10:00-18:00

休館日：月曜日

(月曜日が祝日の場合、翌火曜日が休館となります)



「深川東京モダン館だより」第159号(2026年10月15日)
発行 (一社)江東区観光協会 深川東京モダン館
〒135-0048 東京都江東区門前仲町1-19-15
TEL 03-5639-1776 FAX 03-5620-1632
Mail info@fukagawatokyo.com
ホームページ www.fukagawatokyo.com

